

Q 1 2 . 無償給与制度の意義を伝える取組みなどについて説明してください。

A . 義務教育諸学校における教科書の無償給与制度の意義を伝える取組については、学校、教育関係者、保護者の方だけでなく、国民全体で教科書無償給与制度の意義の理解を深めることとなるため、大変重要なことです。具体的には次のような取組が行われています。

文部科学省では、昭和41年から、「義務教育教科書無償給与制度の意義」を裏面に印刷した紙袋を作成し、小学校に入学する新1年生の教科書をこの紙袋に入れて給与するよう指導しています。

また、毎年、会議や通知等によって、教育委員会や学校等へこの制度の意義や意義を伝える取組が行われるよう周知しています。

学校では、小学校の入学式で、文部科学省で作成した紙袋に教科書を入れて「教科書授与式」を行ったり、「学校だより」や学校の行事、道徳や社会等の授業において、制度の仕組や教科書を大切に使用することを説明したりするなど様々な取組が行われています。

さらに、平成19年度使用の小学校後期用教科書（中学校は20年度使用教科書）から、教科書の裏表紙等に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、国民の税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」という無償給与制度の意義を掲載することになっています。